

《企業紹介》

ホーチミン市を拠点とする著名なベトナム人実業家グエン・チャン氏が仲間と共に、銀行参入自由化直後の1992年に設立した、アジア商業銀行などと並ぶ民間資本としては最も古い商業銀行のひとつである。保守的な融資姿勢が特徴であり、家族経営でありながら、マクロ経済が混乱に陥っても経営危機に瀕するようなことは一度もなかった。2023年にホーチミン市場に株式を公開した。

技術や業務改革には積極的に取り組む姿勢は創業者達の起業家精神を受け継いでおり、2019年にベトナム初の人工知能搭載ロボット行員導入を行ったほか、デジタルネイティブ世代をターゲットにしたバーチャルバンキングを積極的に進め、経済成長によって拡大しているベトナムの中産階級や中堅企業をターゲットにした業績拡大戦略を採っている。

《2024年12月期業績》

2024年12月期の営業収入（以下、収入は全て費用を差し引いた純額）は前期比18.4%増の9.0兆VND（ベトナムドン）だった。金利収入が同19.4%増の7.9兆VNDとなって全体を牽引した。貸出債権残高が同6.0%増の175.5兆VNDと伸び悩んだが、預貸利ザヤの改善が貢献した。貸倒関連費用が同38.6%減の5,209億VNDとなったため、税引後利益は同37.6%増の4.5兆VND、税引後利益は同37.6%増の3.6兆VNDとなった。

図表1 年間業績推移（単位 十億ベトナムドン）

	2020年 12月期	2021年 12月期	2022年 12月期	2023年 12月期	2024年12月期	
						前期比 (%)
営業収入	3,194.5	4,818.7	5,973.3	7,644.2	9,052.1	18.4
(うち金利収入)	2,603.9	4,283.2	5,119.1	6,647.3	7,937.8	19.4
(うち手数料等収入)	117.4	207.7	274.9	590.0	561.0	-4.9
(その他収入)	473.1	327.8	579.3	406.9	553.3	36.0
営業費用	1,630.8	2,239.7	2,841.9	3,492.5	3,985.8	14.1
貸倒関連費用	558.2	779.9	863.4	847.8	520.9	-38.6
税引前利益	1,005.5	1,799.1	2,268.0	3,304.0	4,545.4	37.6
税引後利益	799.7	1,434.4	1,807.9	2,621.6	3,607.1	37.6
貸出債権(期末残高)	145,109.8	154,676.2	161,666.6	165,672.9	175,538.7	6.0
貸倒比率(%)	0.4	0.5	0.5	0.5	0.3	-

注1 収入は全て対応費用を差し引いた純額

注2 貸倒比率は貸倒引当金/貸出債権残高(%)で計算

出所 会社資料をもとに当社作成

《2025年4-6月期業績》

2025年4-6月期の営業収入は前年同期比16.4%増の2.6兆VNDだった。金利収入が同3.9%減の2.1兆VNDとなったが、その他収入が大幅に増加したため、増収を確保している。貸出債権残高は同23.1%増の190.3兆VNDに増加したが、預貸利ザヤが資金調達コストの増加によって悪化し、金利収入は前年同期比で減少している。営業費用は同6.4%減の8,021億VNDとなったが、貸倒関連費用が同153.6%増の6,144億VNDへ大きく増加したため、税引前利益は同6.5%増の1.2兆VNDにとどまった。税引後利益は同6.5%増の1.0兆VNDだった。リスクを積極的にとって貸し出しを増加させているようであり、貸倒比率が同0.7%ポイント悪化の1.3%となっている。

同社は2025年12月期の税引前利益を同10.0%増の5.0兆VNDと計画している。2025年1-6月累計の税引前利益実績は2.5兆VNDであり、計画に対する進捗率は50%に達している。計画の進捗は順調とみることができよう。

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

有効期限作成日より180日

News20250805

主な事業 金融商品取引業

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。

図表2 四半期業績の推移(単位 十億VND)

	2024年4-6月期		2024年7-9月期		2024年10-12月期		2025年1-3月期		2025年4-6月期	
		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)
営業収入	2,316.2	28.1	2,248.8	63.4	2,552.1	-7.3	2,276.3	15.5	2,695.6	16.4
(うち金利収入)	2,208.9	43.6	2,000.3	52.6	2,011.6	-10.4	2,112.2	23.0	2,122.1	-3.9
(うち手数料等収入)	93.6	-61.3	119.9	18.4	174.8	48.9	123.1	-41.0	135.4	44.6
(その他収入)	13.7	-51.8	128.6	-464.8	365.7	-6.6	41.1	-9.3	438.1	3,088.3
営業費用	857.2	4.9	927.8	-4.5	1,338.5	36.3	815.7	-5.4	802.1	-6.4
貸倒関連費用	242.3	5.5	214.6	-	-44.7	-	240.1	120.7	614.4	153.6
税引前利益	1,216.8	59.8	1,106.4	111.9	1,222.4	-2.8	1,224.6	22.5	1,295.6	6.5
税引後利益	971.7	60.0	870.4	109.5	966.8	-2.3	976.1	22.3	1,034.7	6.5
貸出債権残高	154,676.2	21.0	161,666.6	23.5	165,672.9	18.4	175,538.7	21.0	190,329.5	23.1
貸倒比率(年換算、%)	0.6	-	0.5	-	-0.1	-	0.5	-	1.3	-

注 収入は全て対応費用を差し引いた純額 注2 貸倒比率は貸倒引当金/貸出債権残高×4(年換算)で計算(%)

出所 会社資料をもとに当社作成

《株価の動向》

同社の株価とVN指数を、2023年末終値を100としてそれぞれを指数化したものが図表3である。同社の株価パフォーマンスは2025年の年初から概ね同等のパフォーマンスとなっている。2024年末に対する8月4日終値時点の上昇率はVN指数の21%に対して同社は18%となっている。8月4日終値15,100VNDベースの時価総額は20.7兆VNDであり、それは2024年12月期実績の税引後利益3.6兆VNDに対して5.8倍の水準となっている。

資金調達コストの上昇により預貸利ザヤが悪化し、貸出残高の増加が業績拡大に直結していない状況が続いている点は株価パフォーマンスにとってマイナス要因になる可能性がある。この点に注意が必要だが、資産の安全性を確保しながら貸出資産の拡大を進めている点は評価できるだろう。

図表3 株価推移



出所 各種データをもとに当社作成

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より180日

News20250805

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。